

## 重要無形文化財結城紬伝承事業のための の絣設計図案作成

### 【背 景】

茨城県結城市と栃木県小山市を中心として生産されている結城紬は、代々技術が受け継がれている伝統的な絹織物です。その生産工程の一部である「糸つむぎ」「絣くくり」「地機織り」の3工程の技術は昭和31年に国の重要無形文化財に指定され、また平成22年にはユネスコ無形文化遺産にも登録されています。

本場結城紬技術保持会では、その貴重な結城紬の生産工程技術の維持継承を目的として「伝承者養成事業」に取り組んでいます。

### 【支援内容】

当所で、デザインソフトを利用し研究開発した「絣設計図案作成システム」の技術（図1）を用い、本場結城紬技術保持会から提供されたモチーフ案をもとに、亀甲柄の分量、配置、絣柄の連結リピートなど絣製織研修者及び絣括り手の経験や技量を考慮した絣設計図案を5点、くずし柄設計図案1点を作成しました。

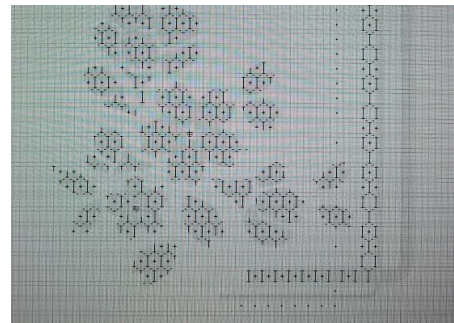


図1 絣図案設計システムによる  
データ作成

### 【開発した製品の紹介】

現在、本場結城紬技術保持会では、今回作成した絣・くずし柄設計図案（図2）を利用し、技術者育成に取り組んでいます。なお、この事業によって織られた反物（図3）は、本場結城紬技術保持会の事業成果報告や産地内催事で展示される予定となっています。

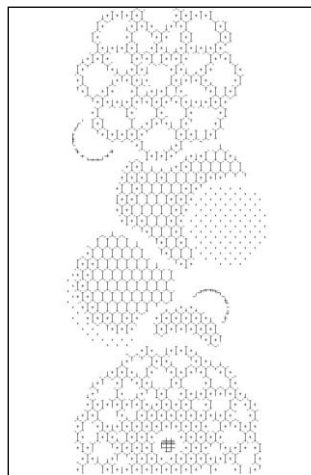
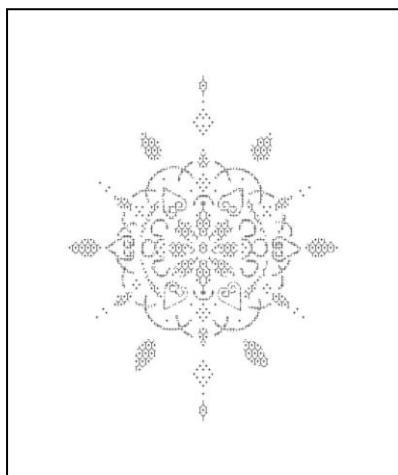


図2 作成した絣設計図案 部分拡大

（左：絣製織研修用 160 飛び 右：絣括り研修者用 100 帯状）

図3 伝習生研修反物 100 帯状

### 基礎となった事業

平成 25～30 年度 オンリーワン技術開発支援事業（受託研究）

### 現在の担当部門

紬技術部門

部 門 長

篠塚 雅子

TEL: 0296-33-4154

主任研究員

中野 睦子